

住宅ローン審査へのAI導入に向けた実証実験の開始について

株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）と、高度な数理技術を活用したコンサルティングを展開するみずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社（代表取締役社長：大島 周、以下「FT社」）は、このたび、住宅ローン審査へのAI（人工知能）導入に向けた実証実験を開始することで合意しました。

みずほ銀行とFT社は、2018年10月より、みずほ銀行に蓄積された大量の住宅ローンデータをFT社が開発したAIに学習させ、AIを活用した新たな住宅ローン審査モデルの構築・検証を目的とした実証実験を開始しました。

みずほ銀行は、住宅ローン審査業務のスピードアップ、住宅ローン審査精度の向上を目指し、実証実験の結果を踏まえ、今後、住宅ローン審査へのAI導入を検討していきます。

1. 住宅ローン審査業務のスピードアップについて

みずほ銀行の住宅ローン審査は、お客さまの多様なニーズに応える観点から、審査工程が複雑化していることに加え、案件数の増加に伴い、業務効率化によるサービスレベルの維持・向上が必要な状況です。

今回の実証実験では、過去実績からその結果を予測する機械学習モデルを構築し、既存の複雑化した複数の審査業務プロセスの一部を機械学習モデルに置き換えることで、同プロセスの業務負担の軽減を図るとともに、効率的でスピーディーな審査体制の実現を目指していきます。

<新たな審査体制イメージ>



2. 住宅ローン審査精度の向上について

住宅ローンは一般的にお客さまとの取引期間が長期に及ぶことから、統計的手法に基づく高度な審査モデルを採用していますが、審査モデルの整備に当たっては定期的な検証により審査精度を継続してブラッシュアップしていくことが重要です。

今回の実証実験を通して、みずほ銀行は、審査モデルの精度向上に向けた管理サイクル（検証とブラッシュアップ）の機動的な運用の実現を目指します。これにより、マーケット環境変化に即応できる審査運営を可能とし、良質な貸出資産としての住宅ローンポートフォリオの健全な増強を図っていきます。

みずほ銀行は、今後も先進的なテクノロジーを活用し、「サービス提供力の向上によりお客さまに選ばれ続ける総合金融グループ」の実現に取り組むとともに、引き続きお客さまの多様なニーズにお応えするための魅力のある商品・サービスの提供に努めていきます。

みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社は、AIをはじめとしたさまざまな先端技術を金融実務の課題解決に適用し、お客さまにとってより便利で快適な金融サービスの開発を進めていきます。

以 上